

(1面のつづき)

鶴岡市では、ユネスコ食文化創造都市や鶴岡産特産物の輸出、国際観光の推進、教育旅行の企画などが目玉で、新年度に繰越明許となります。

エデュケーション・トリップ企画開発事業1800万円は、覚岸寺のサイエンスパーク開発を手掛ける「ヤマカタデザイン(株)」がおこなう「教育旅行」の開発です。

ユネスコ食文化創造都市インバウンドプロモーション事業1050万円は、ユネスコ本部(パリ)での国際交流イベントにおけるプロモーション活動です。

観光文化都市つるおか交流推進事業2751万円と国際観光推進事業1333万円は、ぐるっとバスの運行や観光スポットのライトアップ、首都圏や中京圏での観光キャンペーン、月山ジオパーク推進協負担金、外国人観光客の受け入れ環境の整備や情報発信などが

その内容です。

小・中学校5校に耐震補強事業

国のTPP対策関連で、経営体育成支援事業3億3411万円は、補助率2分の1の担い手確保・経営強化支援事業補助金です。

松ヶ岡地域振興事業4360万円は、松ヶ岡開墾場の駐車場を含む多目的交流広場と公衆トイレの整備です。小学校耐震補強事業

1億3926万円は朝陽二小、上郷小、西郷小、羽黒二小。

中学校耐震補強事業3235万円は豊浦中の屋内体育館の天井撤去と照明LED化です。

除雪費では市長専決処分4億6670万

円が追加されました。

臨時福祉給付金給付事業4億8682万円は、低所得の高齢者に対する3万円を6月までに配り終えるとしており、安倍政権の税金を使った「選挙対策」ではないかと疑問になります。

灯油購入助成事業3025万円は県の2分の1補助を受けて低所得の高齢者世帯等に現

金支給されます。

臨時福祉給付金給付事業4億8682万円は、低所得の高齢者に対する3万円を6月までに配り終えるとしており、安倍政権の税金を使った「選挙対策」ではないかと疑問になります。

新文化会館改築工事に「インフレスライド」適用 労務単価上昇で1.8億増額

2月26日の鶴岡市議

会会派代表者会議で、鶴岡市文化会館改築工事に設計労務単価の上昇などに伴う「インフレスライド」を適用するとの説明がありました。

スライド額は1億8700万円当初請負額78億4000万円から80億7100万円となります。

は、公共工事設計労務単価が各業種で2%から8%上昇したため、建築本体工事で4%、電気・機械設備・舞台工事で3%の影響が出るとしています。インフレスライドは、基準日(2015年10月23日)から残工事が2ヶ月以上ある工事で、残工事量に対する労務単価・資財単価・機械器具損料と諸経費の変更が対象となり、受注者負担は残工事の1%となっています。



鶴岡市文化会館改築工場の様子 設計労務単価の上昇で事業費が1億8700万円増額になる(3月2日撮影)

火力発電石炭灰の安全性

▽2月中旬、「バイオサイエンスパークの造成に火力発電所の石炭灰が使われている」という情報があり調査しました。すると石炭灰には、ヒ素、カドミウム、鉛、水銀など有害物質が含まれており、処分場で管理されていますが、事業者(発電所)が自分で検査して「有害物質は法定基準以下」と判断すれば、セメントなどに混ぜたり、土地の造成に使ったりすることにはほとんど規制が無いということが判りました。▽県循環型社会推進課、県庄内総合支庁環境課、市政企画課に対応を要請する

と、「調査・指導の権限が無い」ということでしたが、開発業者への照会がおこなわれました。地元自治会も情報を得て業者に説明を求めたところ、「道路路盤には使用したが、宅地等の造成には使わないこととした」とのこと。賢明な判断です。▽既に使用された石炭灰の影響調査は将来に渡って必要ですし、同時に、「汚染が発生しない」と、行政は関わらないという土壌汚染防止法の定めにとまらないう、県としての適切な規制を検討し提起していきます。

(県議 関 徹)

市議会政治倫理に関する申し合わせ

会派代表者会議で3項目を確認

2月26日開催の市議会会派代表者会議で、「鶴岡市議会政治倫理に関する申し合わせ」を確認しました。

への就任状況・報酬の有無を議長に届ける。③議員は議員個人のものを除く市への各種申請において、自らが申請者にならない。

①議員は市の指定管理を受託している法人及び団体の執行役員へ就任しない。②議員は市から補助金・交付金を受け又は指定管理を受託している法人及び団体の役員

土木課入札結果 () 内は予定価格
2月25日入札分
・勝福寺4号線道路改良工事(債務負担行為)(勝福寺地内)
(株)菅興業 5,950,000円 (7,285,000円)
工期~6/6 (落札率81.7%)